

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

平成24年1月27日発行

東京都杉並区梅里 1-22-32[社会教育センター内]TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.16

ゼミ活動の発表会へ向けて

キーワードは、 未来志向と新たな人との出会い

1月21日
昼コース

2013年最初の講座。恒例となった5分間日直では、「もうすぐ卒業、終わりという話になりますが、ここからスタートかなあと考えています」と受講生の中原さん。その言葉を体現しているお二人(宮崎さんと池ヶ谷さん)を交えての大人塾となった。お二人は、卒業後も永福和泉地域でだがしや楽校の活動を継続して行っている。「いったい今年の大人塾はどんな人がいて、どんなことをやっているのだろうと興味があって来ました」と宮崎さん。

さて、このお二人の卒業生を招いてのゼミ活動。だがしや楽校の卒業後の活動の話をお聴きすることはこれまでなかなかできなかったため、「私たちも何か始めたいわね～」という声があがっていた。「卒業後も気の合う仲間と活動を続けていくという道もありますよね。それでたまに同期の人に声をかけてみんなが集まったり」と池ヶ谷さん。大人塾卒業生が地域で元気に活動しているということを知ったことで、自分たちの今後のイメージが湧いてきたのではないだろうか。5月には一緒に地域イベントへ参加する予定も立っており、この先もコラボ活動が続いていきそうだ！

そろそろ大人塾としてもまとめる時期に入ってくる。今回はここまで5回のゼミ活動を発表する。これまでの新たな人たちとの出会いをふりかえりながら、最終回の成果発表会へつながるような発表にしよう。(坂本)



日直の中原さん
作・飾り難



お手製こんにゃく&
こんにゃく芋&みかん

花や野菜の在来種の種

大人塾と無形文化遺産

ユネスコ無形文化遺産に「和食；日本人の伝統的な食文化」が登録間近なことをご存じだろうか。農水省作成のパンフレットによると、『料理そのものではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」と位置付けています。』とある。つまり、和食は日本独自の生きた「和」の文化として推薦されているというわけだ。

そう考えると、お互い様やおすそ分け、といった「和」の文化が定着したすぎなみ大人塾昼コースは、すぎなみ独自の生きた「和」のコミュニティ学習といえるだろう。後は学習が実際の活動へ結び付いていくこと。だがしや楽校が無形文化遺産へ登録されるのももうすぐ！なのかもしれない・・・



明治の駄菓子屋(下記書籍 p.46)
物売りおじさん(下記書籍 p.78)

「週休二日社会では、学校の外でかつての物売りおじさんのようなスタイルで学びの実験をする『大道教師』(ストリート・エデュケーター)も現れていいのではないかと思います。『だがしや楽校』は、そのようなキャラクターの『教育実習』でもあるのです」
(松田道雄『駄菓子屋楽校』新評論,2008,p.83、上記写真は講座資料)

ゼミ活動の軌跡④



きょうりゅう
倶楽部

コミュニティカフェをつくる！

- ・大人塾卒業生の宮崎さん、池ヶ谷さんと意見交換
- ・5月にある永福町のイベントに参加予定
- ・今後もコラボを目指すもよう



だがしや楽校
物語

ニコニコロード商店街を紹介！

- ・受講生へのインタビュー開始
- ・三角形の雑談っぼく行う
- ・漫画風物語の完成はいかに！？
- ・乞うご期待、だそう



わづくりの会

得意技を広める！

- ・現受講生で折り紙名人の齋藤昭さんを先生に、色鉛筆をつくる
- ・セッション杉並のロビーでの展示も毎回の楽しみに

12月12日
夜コース

ワークショップリハーサル実施

何を目的に行っているか？を明確にするのが大事！

リハーサルで気をつけること

今回はいよいよリハーサル。リハーサルを行うチームと、お客様になるチームとに分かれ、実際に参加したメンバーから意見をもらうという流れである。リハーサルの前に、広石さんから注意すべき点が示された。「導入部分で、このワークショップが何をしたいのか明確にすること。それが分かれば、お客さんは協力してくれます。そして、最後に必ず何をやったか確認すること。」また、自己紹介も漠然と行うのではなく、あとのプログラムにつながるように、話してもらう内容をしっかり考えておくことも大事だ。そして講座内では、受講生自らがお手本をみせ、お客さんを安心させることも心掛けよう。

終わった後で・・・

タイムテーブルができていても、実際やってみるとずいぶん違う。受講生はこのリハーサルで、自分たちの足りない所、他のチームのワークショップに参加して学ぶ点などが明確に分かったようだ。大事なのは「チームワーク」。チームのメンバーで目的や方向性が共有できていれば大丈夫！と広石さんが太鼓判を押した。次はいよいよ本番、仲間内ではなく、お客様をお迎えするという気持ちを忘れずに。そして「何か」をもって帰ってもらえるように頑張ろう！

「すぎなみ大人」はじめてのソーシャル・アクション

つながりづくり！ワークショップ7 2013

1/27(日)開催

地域の中で新しい「つながりづくり」を始める。「すぎなみ大人」主催の企画・運営による、手始めの試みです。人と人をつなぐための、あたたかみあふれるゲームを通じて盛り合い、「つながりづくり」のほんのりとした体験をお楽しみください。

1コース pm2~4
にきやかな沈黙
音のない世界を体験！

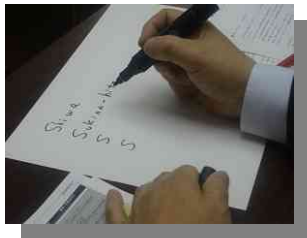

2コース pm1~4
viva! ミドルエイジ
同世代で語ろう！


3コース pm1~3:30
男の手仕事〜ホワイト
テーにお返しをしよう


4コース pm2~4
シニアボイス
昭和を語ろう。残そう！


5コース pm1~3:30
考えよう！すぎなみ産
の卵、野菜を食べなから


日時 12月27日(日) 時間・内容等 上記のとおり
会場 桜区庁舎 研修室(階層1〜2・3・2)ほか
コースは必ずしも、集合・解散時刻のゆわゆる
J対象 区内在住・在勤・在学の方
J定員 各コース15名程度(ゆわゆる非着席)
J費用 (27日参加費、30日参加費)
J申込 電話・FAX・eメールでの行事申込み(住所氏名(フリガ)
の転写の電話番号(希望)・Eメールを
研修センターへ
研修センター
TEL:337-6621 (月〜金曜)午前9時〜午後5時、
土日祝日
FAX:337-6020 E-mail:shiko-cs@city.suginami.jp
主催 桜区社会教育センター
共催「すぎなみ大人」は、桜区社会教育センター主催の
成人学習講座です。



<アドバイス>

- ・話していいところの始まりと終わりをきちんと。
- ・歓声とかはどうか？
- ・休憩を入れたほうがよい。
- ・座ってやるかどうか検討を。



<アドバイス>

- ・流れを書いておいたほうがよい。
- ・自己紹介も画用紙に書いてみれば、2つのテーマをしっかりとわかる。



- 普段使わない感性チーム
- 同世代コミュニケーションチーム
- 針子と糸男チーム
- 高齢者記録チーム
- 農と食チーム

<アドバイス>

- ・何をやりたいのかわからないので明確に。何かを書いておくといいかも。
- ・内容をもっと固めて。
- ・1部と2部のつながりを。
- ・仲間づくりへの発展の方法を考えて。



<アドバイス>

- ・各チームのファシリが知識を仕込んでおいたほうがよい。
- ・講師の話から話題を引き出すように。
- ・試食の材料などの話は休憩前にしておく。
- ・後半のWSではテーマを一つに絞る。



<アドバイス>

- ・流れが書いてあるのが分かりやすくよかった。
- ・グループごとでなく、全体で話す時間が必要。
- ・上手な人とそうでない人の時間差があるので、対応を。

